

2020 年 11 月 25 日

修成建設専門学校

校長 堤下 隆司 様

学校関係者評価委員会

委員長 藤田 晴樹

学校関係者評価委員会報告

2019 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 評価者

2020 年度 学校法人修成学園 学校関係者評価委員

委員名簿（敬称略・順不同）	
丸山 徹	卒業生 保護者
奥田 祐司	株式会社 奥田建築事務所
相賀 勝	元吹田市理事
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役
大槻 憲章	NPO 法人 おおさか緑と樹木の診断協会 理事長
田中 文雄	大和田振興町内会 会長
大和 正	学校法人興國学園 興國高等学校 渉外顧問統括・校務運営委員長
森本 起三子	修成学園 評議員

2. 評価期間

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日

3. 委員会の開催状況および予定

第一回委員会	2020 年 10 月 8 日	（会場 修成建設専門学校 146 教室）
第二回委員会	2020 年 2 月中旬	（会場 修成建設専門学校 実施予定）

4. 学校関係者評価委員会報告

2020 年 10 月 8 日に開催された委員会において、修成学園山下理事長、堤下学校長、さらに各学科長より、2019 年度の業務について自己評価報告書に基づき報告を受け、評価内容の確認を行った。また委員各自が、自己評価報告書に示されている評価項目に対し「自己評価結果」「改善に向けた取り組み」「今後の改善方策」の 3 項目について採点(4 点満点)を行い、その結果を示した。さらに、委員各位からの意見をとりまとめ報告書とする。

5. 採点結果(平均値)

調査項目	自己評価 結果	改善に向けた 取り組み	今後の 改善方策
基準 1 (教育理念・目的・育成人材像)	4.00	3.89	3.89
基準 2 (学校運営)	4.00	4.00	4.00
基準 3 (教育活動)	4.00	4.00	3.78
基準 4 (修学成果)	3.89	3.56	3.78
基準 5 (学生支援)	4.00	4.00	4.00
基準 6 (教育環境)	4.00	3.78	4.00
基準 7 (学生の募集と受け入れ)	4.00	4.00	4.00
基準 8 (財務)	4.00	4.00	4.00
基準 9 (法令等の遵守)	4.00	4.00	4.00
基準 10(社会貢献)	4.00	3.89	3.89
評価	3.99	3.91	3.93

6. 意見

まずはこのコロナ禍の中、学生諸君や教職員の皆様が誰一人感染しなかったことを大変驚くとともに全員の感染に対する意識の高さを感じました。教職員の皆様に於かれましてはリモート授業への準備や学生支援等、大変なご苦労があったと思っています。評価項目について概ね適切といたしておりますが、もう少し厳しい視点も持っていたきたいと感じる部分は3と評価いたしました。学生が授業や学校運営についてどのように思っているかの資料があると何かと参考になるかと存じます。

評価とは別に、法人が所有している「堀江ラボ」のさらなる活用、活性を期待する所でございます。

新型コロナ禍の中、各々の先生に置かれましては授業内容について時代に相応しい形で色々工夫された結果が自己評価書の中で現れていると感じており、全体的に見て概ね良好として評価したいと思います。

今回の自己評価報告書を受けて、次の2点を要望しておきたいと思います。

1、在校生と卒業生との交流について

学校創立110年、同窓会（修友会）設立80年と技術系専門学校では最も伝統ある学校として、これまで37000人を超える優秀な卒業生を社会に送り出しております。また今年度においては新1年生として573名の入学となり、昨年より63名の増員となりました。

若い世代の皆様がこれからの時代を乗り越えていくためにも当校卒業生の皆様の貴重なご経験を次の世代に伝えていくことは非常に重要で価値のある事だと私は考えます。すなわち、現在様々な業種で活躍する諸先輩方とこれから世に出る在校生の皆様との間での「世代を超えた交流」を今まで以上に充実させていくことが大切ではないかと考えます。

2、行政・地域との連携

現在も行政・地域との連携において公共施設（公園道路）の緑化を含めた街づくりに前向きに取り組み、市の緑被率向上に大いに貢献されていることかと存じます。緑被率向上においては行政・地域側の予算問題もありますが、これまで以上に行政・地域とも協議調整しながら「よりよい街づくり」に貢献出来るよう努力していくことが重要であると思います。

前年度の評価に対する各種のご意見をしっかりと受け止めていただき、改善できること、すべきことを着実に取り入れて、修成学園一丸となって一層の努力をされていると強く感じております。今回の報告書におきましても、各学科より丁寧なご説明をいただき、各基準評価は「適切」であると私個人は評価させていただきました。ただ、修学成果におきましては、試験課題の変化にも左右される事は重々承知しておりますが、資格取得率（合格率）が下がった学科も若干あったようです。確かに、数値だけでは測ることが出来ないですし、難関であるのは承知しておりますが、改善策にも示されている

とおり、学生の皆さんのモチベーションを高める為のあらゆる対応策を講じていただけると確信しておりますので、頑張ってくださいと思います。また、地域貢献やボランティア活動について、評価を「3」にしておりますが、もう一段高いレベルを求めていけると考えてしまいます。このコロナ禍が落ち着き、可能な時期になりましたら、学校のPRも含めた貢献を期待しております。

色々と勝手なことを申しておりますが、日頃の先生方のご努力は、各学科説明からも学生募集にも顕著現われております。これからも、貴学の学生がより安全に且つ自ら積極的に学習や実習に取り組めて、自分の未来を描ける素晴らしい修成学園であっていただきたいと念じております。

学生の学習意欲の維持向上と学力向上に積極的に取り組まれて成果を上げられていると思います。

建設業界は、コロナ禍の影響が比較的少ないとはいえ、社会の状況が大きく変わる可能性があります。特に教育環境は影響を免れないという気がします。A I のさらなる活用など先取り、先駆けとして進めていただきたいと思います。

新しい評価方法を導入するなど、学校全体で前向きな改革に取り組んでいることは大いに評価できるのではないのでしょうか。またコロナ禍で今後の就職活動への取り組みについては、オンライン等での活動が多くなると思いますので、これまで以上に学生へのアドバイスをお願いします。

建設業界では人手不足が慢性化している。学生受入のキャパシティに余裕があるのであれば、募集定員を増やしてはどうか。

以上